



大阪・神戸圏の既婚女性346人に、夫の家計への協力について聞いた。

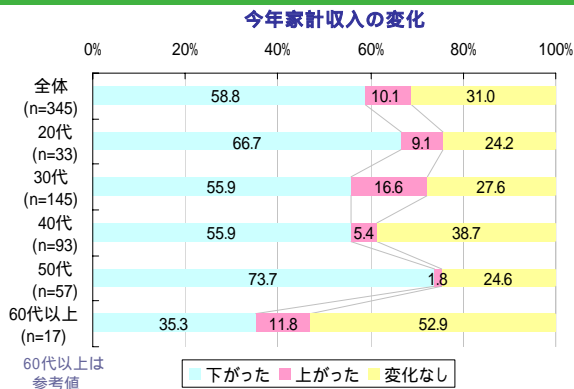
## 2009年の家計の収入は、全体の約6割が「下がった」

2008年と2009年を比較し、家計収入に変化があったかを聞いた。全体の58.8%が「下がった」と回答。「変化なし」の回答は、31.0%、「上がった」の回答はわずかに10.1%であった。年代別で見ても、「下がった」の回答はどの年代も半数を超え、特に50代においては、73.7%と高い結果となった。(グラフ<1>)

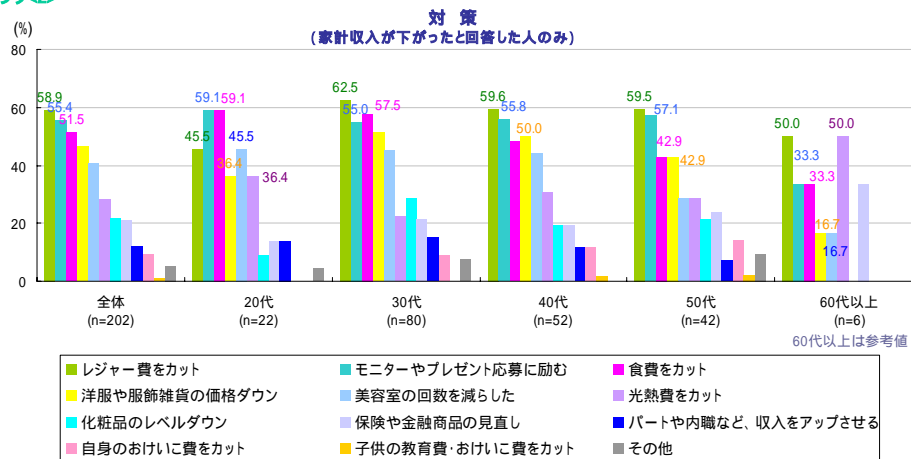
## 対策は、「レジャー費のカット」で58.9%

家計収入が下がったと回答した人に、収入が下がったことでの家計内の対策を聞いた。全体で最も多かったのが「レジャー費のカット」で58.9%、「モニターやプレゼント応募に励む」55.4%、「食費をカット」51.5%と続く。(グラフ<2>)

グラフ<1>



グラフ<2>



## <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



## この1年で、家計のために夫が何か協力してくれるようになったかは「はい」が53.6%

この1年で、家計のために夫が何か協力してくれるようになったについては、全体の53.6%が「はい」と回答。年代別で見ると、40代を除く各年代は「はい」の回答が半数を超えたが、40代は「いいえ」のほうが多く、52.1%であった。(グラフ<3>)

## 家計のために夫が協力してくれることのトップは、「おこづかいダウン」

家計のために夫が協力してくれるようになったと答えた人に、具体的に協力してくれる内容を聞いた。最も多かったのは、「おこづかいダウン」で35.7%であった。次いで「水筒を持参」で29.2%、「家で飲むアルコール飲料の量が減った、またはやめた」28.6%と続く。(グラフ<4>)

## おこづかいの節約額(1ヶ月)は、「9000円以上11000円未満」で43.1%

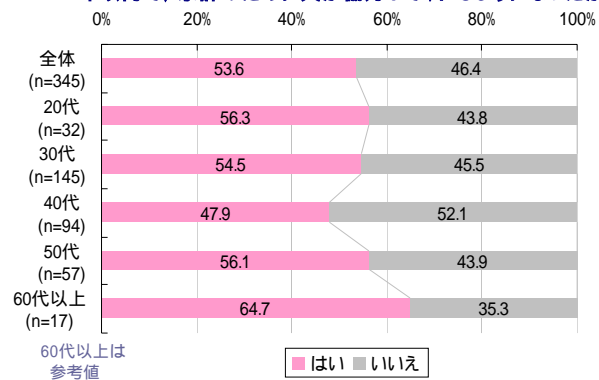
おこづかいの節約額で最も多かったのは、「9000円以上11000円未満」で43.1%。節約額は、多い人は30000円、少ない人は1000円となった。(グラフ<5>)

## 水筒持参での節約額(1ヶ月)は、「3000円以上5000円未満」で48.9%

水筒持参での節約額で最も多かったのは、「3000円以上5000円未満」で48.9%であった。節約額の多い人は、10000円、少ない人は800円。(グラフ<6>)

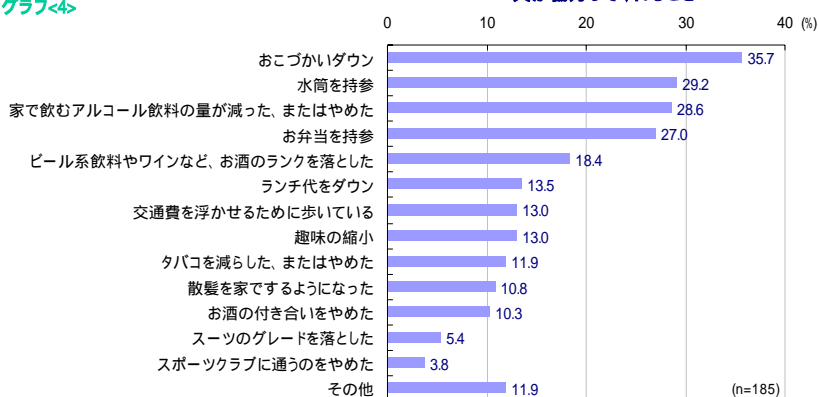
グラフ<3>

## 1年以内で、家計のために夫が協力してくれるようになったか



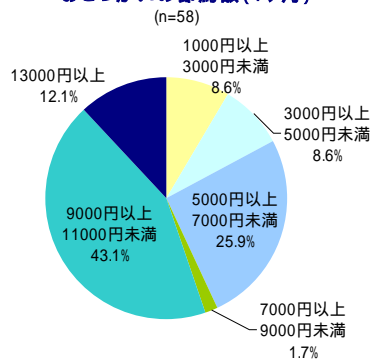
グラフ<4>

## 夫が協力してくれること



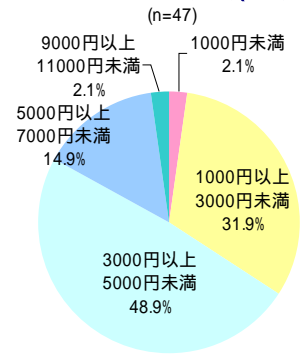
グラフ<5>

## おこづかいの節約額(1ヶ月)



グラフ<6>

## 水筒持参の節約額(1ヶ月)



## <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



## 自宅で飲むお酒の量の節約額(1ヶ月)は、「3000円以上5000円未満」で48.9%

自宅で飲むお酒の量の節約額で最も多かったのは、「1000円以上3000円未満」で48.9%となった。節約額については多い人は10000円、少ない人は500円であった。(グラフ<7>)

## お弁当持参での節約額(1ヶ月)は、「9000円以上11000円未満」で31.8%

お弁当持参での節約額で最も多かったのは、「9000円以上11000円未満」で31.8%であった。節約額が多い人は20000円、少ない人は2000円であった。(グラフ<8>)

## 自宅で飲むお酒のランクダウンの節約額(1ヶ月)は、「1000円以上3000円未満」で46.4%

自宅で飲むお酒のランクダウンの節約額で最も多かったのは「1000円以上3000円未満」で46.4%であった。節約額が多い人は13000円、少ない人は500円であった。(グラフ<9>)

## ランチ代の節約額(1ヶ月)は、「3000円以上5000円未満」で34.8%

ランチ代の節約額で最も多かったのは、「3000円以上5000円未満」34.8%。節約額が多い人は、15000円、少ない人は600円であった。(グラフ<10>)

## 交通費の節約額(1ヶ月)は、「5000円以上7000円未満」・「1000円以上3000円未満」がともに33.3%

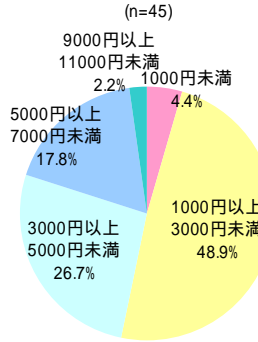
交通費の節約額で最も多かったのは、「5000円以上7000円未満」・「1000円以上3000円未満」で、ともに33.3%であった。節約額が多い人で15000円、少ない人は1000円であった。(グラフ<11>)

## 趣味縮小の節約額(1ヶ月)は、「13000円以上」で40.0%

趣味縮小の節約額で最も多かったのは、「13000円以上」で40.0%であった。節約額の多かった人は50000円と、他の項目の内容より高かった。節約額の少ない人は2000円となった。(グラフ<12>) 具体的な縮小する趣味は、「ゴルフ」・「CD/DVD/本の購入」・「パチンコ・競馬」等であった。

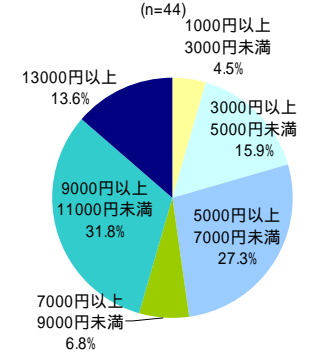
グラフ<7>

### 自宅でのお酒の量の節約額(1ヶ月)



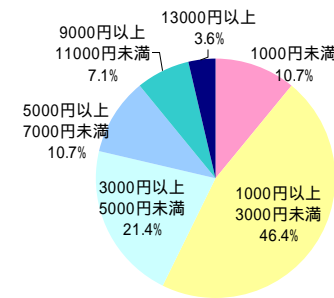
グラフ<8>

### お弁当持参の節約額(1ヶ月)



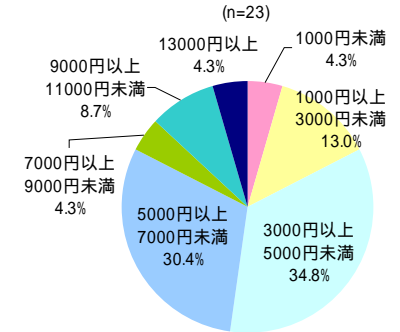
グラフ<9>

### 自宅でのお酒のランクダウンの節約額(1ヶ月)



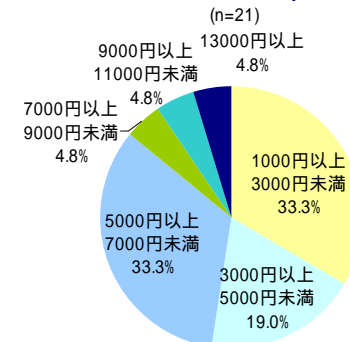
グラフ<10>

### ランチ代の節約額(1ヶ月)



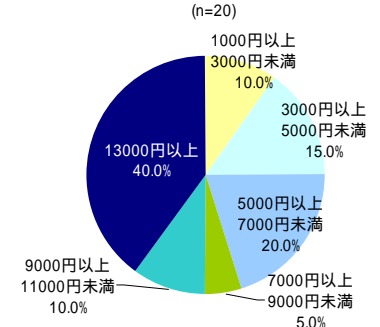
グラフ<11>

### 交通費の節約額(1ヶ月)



グラフ<12>

### 趣味縮小での節約額(1ヶ月)



## <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。

**リビングくらしHOW研究所** 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



## 1ヶ月あたりの節約合算額は、「13000円以上」で39.0%

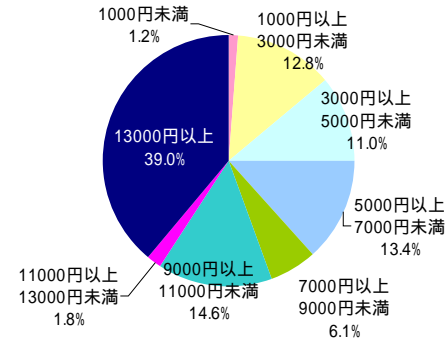
1ヶ月あたりの節約合算額で最も多かったのは、「13000円以上」で39.0%。次いで「9000円以上11000円未満」14.6%、「5000円以上7000円未満」13.4%と続く。(グラフ<13>)

## 協力前と後での削減できた額は「10000円以上20000円未満」35.5%

協力前と後での削減できた額のトップは、「10000円以上20000円未満」で35.5%。次いで「5000円未満」23.6%、「5000円以上10000円未満」22.7%と続く。(グラフ<14>)

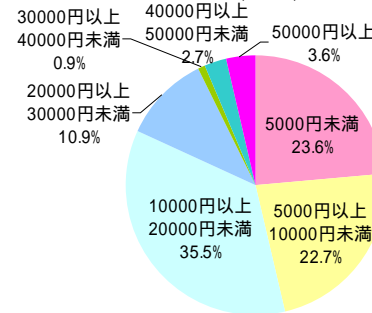
グラフ<13>

1ヶ月あたりの節約合算額  
(n=164)



グラフ<14>

協力前と後での費用効果額(1ヶ月)  
(n=110)



## <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。

**リビングくらしHOW研究所** 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



## 協力してくれるようになった夫の反応は、「すすんで協力してくれている(楽しみながらしている)」69件

協力してくれるようになった夫の反応を聞いた。最も多かったのは、「すすんで協力してくれている(楽しみながらしている)」で69件。次いで、「渋々だが、なんとか協力している」18件、「あきらめているようだ」13件と続く。(表)

表

| 協力してくれるようになった夫の反応 (件数)    | (件数)       |
|---------------------------|------------|
| すすんで協力してくれている(楽しみながらしている) | 69         |
| 渋々だが、なんとか協力している           | 18         |
| あきらめているようだ                | 13         |
| 節約はつらそうだ(ストレスがありそう)       | 11         |
| 変わらない・気にしていないようだ          | 10         |
| 健康的になった                   | 7          |
| その他                       | 17 (n=144) |

### その他 FA抜粋

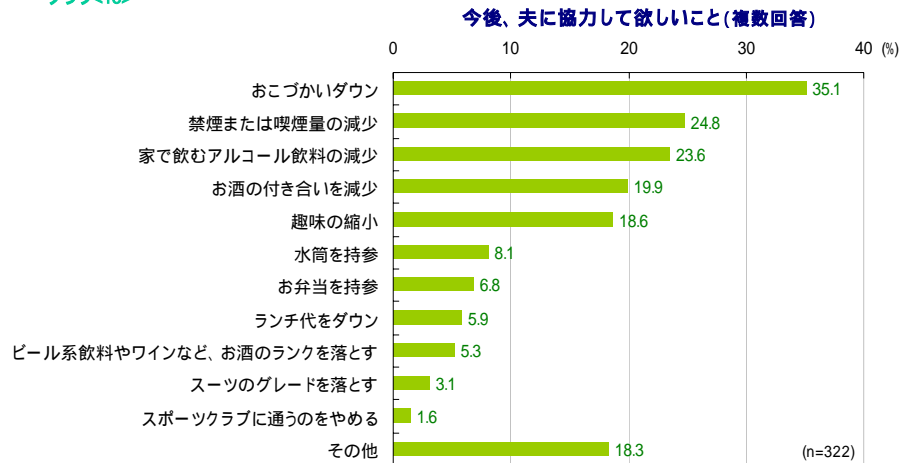
- ・バイトをやりたがる。
- ・協力するのが当然だと励んでくれますが、電気をつけっぱなしにしたり、私もそうですが、どこかが抜けています。
- ・周りの方も節約の雰囲気があるらしく、自然な変化のようです。
- ・節約をするようになり家族の結束が強まったみたい。
- ・あれこれ「欲しい」とあまり言わなくなった。

## 今後、夫に協力して欲しいことのトップは「おこづかいダウン」35.1%

今後、夫に協力して欲しいことのトップは、「おこづかいダウン」で35.1%。次いで「禁煙または喫煙量の減少」24.8%、「家で飲むアルコール飲料の減少」23.6%と続く。(グラフ<15>)

その他の回答の代表的なものは、「水道光熱費の節約」が6件、「おやつなど、無駄使いをやめて欲しい」5件などがあげられた。(表)

グラフ<15>



表

| その他 FA (件数)                 | (件数)     |
|-----------------------------|----------|
| 水道光熱費の節約                    | 6        |
| おやつなど、無駄使いをやめて欲しい           | 5        |
| 体のことを考えて禁煙・お酒を減らすなどして欲しい    | 4        |
| まだ節約できるところがある               | 4        |
| 娯楽・趣味を減らして欲しい               | 3        |
| 遅めに帰ってきて欲しい・食事を済ませて帰ってきて欲しい | 3        |
| その他                         | 6 (n=31) |

**リビングくらしHOW研究所** 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

### <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。



夫に家計協力してもらったり、失敗談や成功談、家族にとってのメリット・ハブニングなどエピソードを聞いた。

## 成功談

- ・交通費を浮かせるため、片道20分の距離を歩いて通うようになり、少しスリムになった気が・・・。
- ・早く寝るようになり 風邪をひかなくなった。
- ・お昼はお弁当を持ってもらうようになり、体が軽くなったと言っている。よかったよかった。
- ・主人も家でよく料理をするようになって、休みの日などは台所にたつことが多くなって、私も少し楽になった！
- ・お弁当を作る時間が私がないとき、自分でお弁当を作っていた夫！料理すらまともに作ったことのないのに・・・(ご飯をつめて、卵を焼いて、冷食チンだけです) ちょっと感動しました。

## 失敗談

- ・ビールから発泡酒へ変更してくれたのですが、おいしい発泡酒に出会い(麦とホップ)今までまったくアルコールを口にしなかった私が、週に2~3回コップ1杯程度もらうようになってしまい、購入量が若干ではあるが増えた。
- ・特売日のまとめ買いに車を出してもらいと、菓子など余計なものが増えて、逆に割り増しになることも。
- ・不景気でお酒の付き合いが減ったのか、ほとんど家で食べるようになったので、食費が増えた。
- ・ウォーキングで行動するようになったものの、途中でコーヒーの香りにつられ、かえって出費が増えたように思う。本人は詳しく言わないが、まあそれくらいいいか、と思っています。
- ・朝も昼もお弁当を作ってあげてるのに、外回りのため、お腹が空くために合間に買い食いが増えておこづかいがすぐに消えてなくなり、口喧嘩と私のイライラ感が増えた。
- ・スポーツクラブに通わなくなって体重が増えた。
- ・散髪を自分自身でしているのですが(丸刈りなのでバリカンで)、さらに見た目が悪くなりました(笑)
- ・付き合いが減って、帰宅時間が早くなりスーパーへ寄ってから帰る様になり、値引きの品を買って帰るのが日課になった。かえって経費が掛かるようになった。

夫の家計協力について、感謝のメッセージや怒りの言葉などを聞いた。

## 感謝のメッセージ

- ・私が働いていた頃は私よりも積極的に家事をこなしてくれ、専業主婦になった今でも積極性は変わらずサポートしてくれて本当に感謝しています。
- ・お弁当作りを手伝ってくれて、助かってます。お昼代が浮いた分だまに外食させてくれてありがとう。
- ・年齢と共に、私の言葉に耳をかしてくるようになり、節約しながら健康的な生活になってきていることを嬉しく思っています。これからも、一緒に頑張ろうね
- ・少ないおこづかいをさらに減らしてごめんね。文句も言わずに協力してくれてありがとう。貯金が増えたら旅行に行こうね！
- ・大好きなお酒の付き合いを減らして、家の事も協力的で、色々考えてくれてありがとう！本当に心から感謝しています。ストレスが溜まらないか心配です。
- ・ボーナスが出ないのは主人のせいではないのに、責任を感じていてかわいそう。ボーナス・給料カット。でも一生懸命働いてくれている主人に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・世界一の夫です。
- ・「いつも家計のやりくりありがとう」と感謝の言葉をもらうのでとっても幸せです。ありがとう！！

## 怒りの言葉

- ・節電を意識してスイッチ型のコンセントでoffを心がけているのに、夫が最後に使用した後に切り忘れていた事が多い！もう少し気をつけてください。
- ・お金が湯水のごとく流れてくと思うな！
- ・妻に家計をまかせっきりしないで、もうすこし家計のことを気にかけてよ！！
- ・給料が減っても小遣い要求ふざけるな！
- ・「～放し」をやめてくれ！！
- ・タバコをやめる～と言っては禁煙グッズを買うのだが、未だ成し遂げられていない！禁煙グッズが高額なため、無駄な出費だった！
- ・健康の為に煙草、お酒を控えてくれれば家計も少しは助かるのに、心配しても切られるだけなので、本当にやるせないです。
- ・寒いからといってすぐエアコンをつけなくて欲しい。こっちは日中寒くても着こんで我慢してるのに！
- ・甘やかされて育ったのか何も耐えるところがないところを少しでも直してほしい。
- ・ビールを減らす事ができたのだから次はお腹の贅肉をよろしく！

## <回答者プロフィール>

年齢:20代 9.5%、30代 41.9%、40代 27.2%、50代 16.5%、60代以上 4.9%。平均年齢 41.0歳。

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430